

未来の芸術家支援
のれん百人衆

令和5年度
活動報告書

この度は、皆様から本学に厚いご支援をいただき、心から感謝申し上げます。
皆様から頂戴いたしました支援金により活動している団体について、ご報告申し上げます。

令和5年度 御支援者様 (敬称略/五十音順)

巖本 博

巖本金属㈱ 代表取締役社長

株式会社SGC

株式会社大垣書店

株式会社祇園辻利

北尾 哲郎

日東薬品工業㈱ 代表取締役会長

一般財団法人京都花鳥館

京都信用金庫

株式会社キング

株式会社コスモネット

株式会社聖護院八ッ橋総本店

株式会社ゼロホールディングス

医療法人知音会

株式会社長栄

天ぶら圓堂

株式会社トーセ

戸塚 亮一

㈱ベヒシュタイン・ジャパン 代表取締役会長

公益財団法人日新電機グループ
社会貢献基金

畑 正高

(株)松栄堂 代表取締役社長

株式会社フラットエージェンシー

鷺田 清一

渡辺 孝史

(株)一保堂茶舗 代表取締役社長

未来の芸術家支援
のれん百人衆

ご支援いただいたみなさまへ

今年度は移転という大きな節目を迎えた本学ですが、《のれん百人衆》のみなさまからのご支援のおかげで、学生たちの学びの環境を少しずつ着実に整備・充実することや、課外での意欲的な活動を応援することができました。学生や教職員を代表して、ここに深く感謝申し上げます。

学生たちの大きな喜びや感謝はもとより、彼らのほとばしる情熱や、彼女たちに潜んでいる才能の開花を、わずかなりともみなさまにお返しできたなら、こんな幸いなことはありません。

これからも、芸術文化の継承と発展という大きな使命を担う学生たちを大切に守り育てるため、どうか引き続きお力添えいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

公立大学法人京都市立芸術大学理事長・学長

赤松 玉女

京芸常磐津部「常磐津部芸大祭公演『第六回芸大KABUKI 「将門」忍夜恋曲者』」・「常磐津部展」への活動支援

京芸常磐津部について

常磐津部は、常磐津節を学び・遊び・表現する世界で唯一の部活動です。2016年に発足し、現部員は約30名です。2017年に芸大祭で浄瑠璃と役者が共演する舞台劇「芸大 kabuki」を発表し、以来毎年発表を行っています。

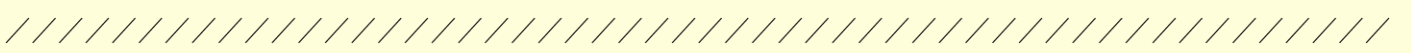
活動を終えて

『芸大kabuki「将門」』は、本学の芸祭メインステージで常磐津節の古典曲「将門(忍夜恋曲者)」を上演しました。ただ古典に倣うだけでなく、滝夜叉姫が光国を誘う場面で現代曲を演奏するアレンジを加えて再構成した舞台劇です。移転後は慣れない環境で脚本の変更を何度もしなければなりませんでした。お客様も一緒に楽しんで貰える演出を導き出すことができました。客席(200席)は全て埋まり、たくさんの拍手を頂きました。



のれん百人衆寄付者へのお礼のコメント

寄付者様からの支援は私たちの活動の支えとなり、慣れない環境に苦しみながらも、例年以上の成果をあげることができました。今回の活動を通して私たちは多くを学び、将来においてかけがえない経験となりました。改めまして、心から敬意を表すとともに、深く感謝申し上げます。



古典派音楽研究会「第7回定期演奏会」への活動支援

古典派音楽研究会について

主にモーツァルトやベートーヴェン、ハイドンなどのウィーンの古典派音楽について勉強しています。年に一度の定期演奏会を通じてご来場くださるお客様方との交流や、それらに向けて練習や勉強することでより一層の知識と技能を身につけ、これまでの音楽を我々がこの先に繋げていくと共に、新しい発見や我々ならではの考え方や演奏の仕方を共に考え、学び、伝えることを目的としています。

活動を終えて

京都文化博物館別館ホールにて、協奏交響曲2曲を取り上げ演奏を行いました。当クラブ顧問の大嶋義実教授をソリストとしてお迎えしてフルート協奏曲を演奏し、非常にたくさんのお客様にご来場いただきました。

のれん百人衆寄付者へのお礼のコメント

今年度も無事定期公演を実施できました。毎年貴重な経験を積む事が出来るのも、のれん百人衆の皆さまのご支援あってのものであります。ご支援誠にありがとうございます。これからも、皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、部員一同音楽と向き合っていきたいと思っております。



現代音楽研究会club MoCo「第2回定期演奏会」への活動支援

現代音楽研究会club MoCoについて

2021年7月，“現代音楽研究会 club MoCo”は京都市立芸術大学の公認同好会として創立しました。現在約40名の学生が在籍しており，顧問には本学で教鞭を執っておられる作曲家の酒井健治氏を迎え，現代音楽の演奏・研究に努めています。

活動を終えて

演奏機会の少ない現代音楽を生で聴けて嬉しかったという意見や、ラッペンマンについての言及が多かったです。特に音色について触れられているものが多く、それは楽曲の中で用いられている様々な特殊奏法を部員が習得できたからではないかと考えます。今回は126人にご来場いただきました。音楽の技術面でも新たな学びを得、実りの多い演奏会でした。

のれん百人衆寄付者へのお礼のコメント

この度はご支援いただき誠にありがとうございました。「現代音楽」という、なかなか難しい分野に挑戦する私たちにとって、ご支援は大変心強かったです。来年度も定期演奏会を開催する予定です。反省点を踏まえて、曲目も集客もさらにパワーアップできるように精進しますので、その時も何卒よろしくお願いたします。



サクソフォン専攻生による第7回アンサンブルコンサート「Saxtation」への活動支援



Saxtationについて

現在大学院生1名を含めた10名で活動しており、定期演奏会などの学校行事はもちろん、地域の演奏会や、依頼演奏、またそれぞれ学部生が自主的に行っている演奏会など、さまざまな活動を行っています。

活動を終えて

専攻生総勢9人でデュオや四重奏、五重奏など様々な編成の作品を演奏しました。プログラムに一貫性を持たせることで、お客様にクラシックやサクソフォンという楽器について魅力が伝わるよう工夫を凝らしました。そしてたくさんのご好評の声をいただきました。また今回の演奏会を開催するにあたり、SNSでの集客にもこだわり、多くの人に目を引いてもらえるような宣伝動画を作成することで、幅広い世代の方にご来場頂くことができました。

のれん百人衆寄付者へのお礼のコメント

昨年度に引き続きご支援いただき誠にありがとうございました。演奏会の成功は、皆様からのご支援があったからこそ叶ったものであると専攻生一同、深く感謝しております。今後もサクソフォンの魅力が広く伝わるよう、個々の技術、アンサンブル能力の向上に精進して参ります。改めまして、今回のご支援本当にありがとうございました。

漫画雑誌製作「芸祭バンジ」への活動支援

芸祭バンジについて

芸祭バンジは異なる学年・専攻を超えて複数人の有志学生が力を合わせ、漫画雑誌という媒体の一つの作品を作り上げることで、普段の制作とはまた違った観点からの芸術表現を他人とともに行うことを目的としています。

活動内容

学生同士で話し合い、スケジュール管理から漫画作成まで様々な分野を担当し、自主的に考え、動き、それぞれが漫画雑誌を作るという目標に向かって取り組むことで、教授からの評価を受ける課題制作などの普段の制作とは違う、他者と共同で芸術表現を行うという目的が達成出来ました。

今年の編集部員は未経験の部員が多く、経験者の部員に頼ることが多くありましたが、会議を重ねることで理解を深め、学年学科関係なく共に協力して取り組むことができました。

のれん百人衆寄付者へのお礼のコメント

この度は芸祭バンジを支援していただき誠にありがとうございました。おかげさまで、無事私たち、芸祭バンジ2023参加者総勢18名の共同作品として、漫画雑誌を完成させることができました。大学移転というイレギュラーがあった中、開催された芸大祭ではより幅広い層の方々に手に取っていただけました。今後とも芸祭バンジへのお力添えをどうぞよろしくお願い致します。



茶道部による「もみぢ茶会」への活動支援

茶道部について

7名の部員で、月2回、日本の伝統文化である茶道を学ぶクラブとして活動しています。外部から裏千家の先生をお呼びし、本格的なお稽古をしていただいています。

活動を終えて

活動を通して私たちが学んだことは、今まで硬いイメージのある茶道の楽しさを、多くの人に新しい形で提供できるということです。コロナ禍の前までは、茶会という形で茶室にお招きし、提供する形でしたが、今年度は規制が多く形式を大きく変えての出店となりました。しかし今までよりも多くの人に気軽に楽しんで貰えたことで、新しい茶道の可能性が見えたと思えました。

のれん百人衆寄付者へのお礼のコメント

この度は私たち茶道部にご支援くださり誠にありがとうございました。おかげさまで、無事もみぢ茶会を実施することができました。コロナが明けてから初めてのもみぢ茶会で、加えて新キャンパスでの実施ということで開催できるか不安な点がたくさんありましたが、経済的な面も含めて滞りなく実施することができとても嬉しく思います。改めて御礼申し上げます。



グループ展「漆加飾の美しさ」への活動支援

グループ展「漆加飾の美しさ」について

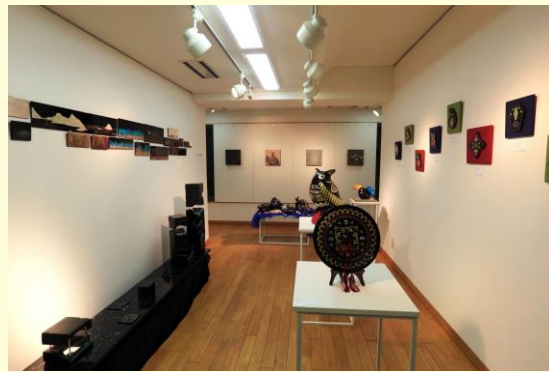
漆工芸の伝統的な技巧を用いつつ、漆の加飾の美しさを様々な角度から既成の概念にとらわれない表現で作品を創作し、漆芸の多様性、漆の新しい魅力と可能性を探し、それに対する、見る人からの意見やアドバイスを頂くことが展覧会の目的です。

活動を終えて

活動目的としていた、価値観の違いや多様性、漆で表現する意味、そして漆の新たな可能性を十分に得られる展覧会に出来たと実感しています。3人の多種多様な作品に共通しているのは「漆」という素材と工芸という分類から逸脱した表現を追求していること。そんな個性豊かな作品同士を同じ空間で展示し、それぞれが考える漆の美しさをアプローチしたことによって、表現の広がりや漆の可能性をお客様にお見せする事が出来ました。

のれん百人衆寄付者へのお礼のコメント

この度はご支援して下さいありがとうございました。のれん百人衆寄付者様のご支援のおかげで、様々な気づきや学びが得られた良い展覧会にすることが出来ました。心から謝意を述べさせていただきます。今後も、この経験を活かし、日々研究や作品作りに取り組んでまいります。



個展「テーブル越しの光景」への活動支援



個展「テーブル越しの光景」について

私は自分と他者の関わり方をテーマに制作を行っています。家の中、部屋、窓、机の上など自分の身近にあるものをモチーフにドローイングを行い、そのものについて考えを巡らせたのち、それを作品として制作しています。机の上の静物を主なテーマとして、ベニヤ板やパイン材など木目の模様・質感のあるものを支持体に用いた作品を制作しました。

活動を終えて

空間が大きく見えるような展示にしたいと考え、搬入前に大体の配置を決めていきましたが、実際にギャラリーで展示をしてみても臨機応変な変更を行うなど貴重な体験ができました。普段学内で制作しているだけでは作品を見てもらう機会がない方々に作品を見てもらうことができ、とても良い刺激になりました。

のれん百人衆寄付者へのお礼のコメント

展示費用のご支援をいただきありがとうございます。ご支援いただけたことで、展示の構成を考えたり作品を制作することに、より多くの時間を費やすことができ、自分の初めての個展を満足の行くクオリティで行うことができました。この展示で得られた経験をもとに今後も精進したいと思っています。

「Zhidanova Alina 淵とのぞき穴」への活動支援

「Zhidanova Alina 淵とのぞき穴」について

想起、忘却をテーマに作品を制作しました。様々な国や街、人の記憶に触れ、その奥にみえる社会や文化を映し出します。今回のプロジェクトはアニメーションと展示とパフォーマンスが融合したものです。普段は舞台作品しか見に行かない人が展覧会や、アニメーション作品を鑑賞する機会を得たり、美術作品しか見に行かない人が舞台作品を鑑賞したりといった、異なるジャンルの鑑賞者の行き来を目指しました。

活動を終えて

集客は見込み数よりも少ない人数ではあったものの、普段は美術に興味のない人が美術作品を鑑賞したり、舞台を観ない人たちが鑑賞するなど、ジャンルを跨いでの発表ができました。会場に作家であるジダーノワがずっと会場にいたため、鑑賞者と深く話し合うこともでき、さまざまな意見をもらい、これからのブラッシュアップのヒントを得ることができました。

のれん百人衆寄付者へのお礼のコメント

今回は発表するだけでなく、鑑賞者と深く話し合うこともでき、これからのに向けたヒントを多数得ることができました。何よりも嬉しかったのは、他のジャンルの方、普段アートを鑑賞しない方などが観に来てくれたことです。少しずつでも、アートという狭い世界から社会と繋がっていくような機会をこれからも作っていきたいと思います。今回はその最初の一歩としての支援をいただき、本当にありがとうございました。



ZINE製作「キモノ倶楽部レモンエロウ」への活動支援

「キモノ倶楽部レモンエロウ」について

キモノ倶楽部レモンエロウは昨年5月に設立した一回生を主体とする同好会です。着物の魅力を伝えること、また各々の活動のレベルアップを目標にZINE（小冊子写真集）の作成等を行っています。今後はより幅広く活動することを目標としています。

活動を終えて

新キャンパスへの移転前に、沓掛キャンパスの緑豊かな環境をさわやかな着物を通して記録しました。その他にも、百鬼夜行をテーマにした撮影会、伏見酒蔵での撮影会、京都市有形文化財「長楽館」（丸山公園）での撮影会などを行い、ZINEを作成し、芸大祭で販売するなど貴重な経験ができました。

のれん百人衆寄付者へのお礼のコメント

この度は、立ち上げたばかりの「キモノ倶楽部 レモンエロウ」へご支援いただき、厚く御礼申し上げます。おかげ様で、夢であった有形文化財「長楽館」での撮影会もかないました。長楽館様にも、芸術活動での撮影であればご快諾いただき、全面協力をいただきました。この様に、のれん百人衆をはじめ、京都の方々が文化と芸術を愛し応援される「京都の心意気」に感じ入りました。多くの方々に応援いただき、自由に創作できる機会をいただいていること、改めて感謝し、今後の糧にしたいと思います。



保存修復専攻への活動支援

文化財の保存修復に関する人材育成に活用させていただきました。
令和5年度は以下の活動を行いました。

- ・久多自治振興会所蔵の「釈迦十六善神像」の保存修理
- ・本学芸術資料館所蔵の西川桃嶺の屏風を修復
- ・無鄰菴洋館障壁画の調査



美術学部・研究科「作品展」への開催支援

美術学部1回生から美術研究科修士課程の学生約700名の学生が出品する、まさに未来の芸術家の作品が集結する大規模な美術展覧会です。令和6年2月に本学新キャンパスで開催しました。学生たちの将来的活躍を期待する重要な展示であるとともに、そこに至るまでの研究・学習の道程を示す教育的展示にもなっており、この作品展を通じて学生たちは大きな成長を見せてくれます。



